

1月25日(月曜日)「あなたのベテルを」

【新改訳 2017】

創世記 35・1

「神はヤコブに仰せられた。『立ってベテルに上り、そこに住みなさい。そしてそこに……あなたに現れた神のために祭壇を築きなさい。』」

ベテル(「神の家」の意)は、ヤコブが兄エサウを恐れて難を逃れるために旅した途上で、ある夜眠りの中で主が共におられることを体験した所でした。断定はできませんが、彼が個人的に神の臨在に触れた最初の記念すべき場所だったと思われます。彼は、そこに仮寝の枕にした一つの石を柱として立て、「ベテル」と呼ぶことにしました。ヤコブは、神から語られたように、そこにみんなといっしょに戻り、祭壇を築きました。再び神の祝福に浴したのです。また、そこは祖父アブラハムも神との関係を体験し、回復した所でもあったと思われます。

そこに行くと神と会える、という所をもっていることは、なんと幸いでしょう。神は、いつでもどこでも共にいてくださるのですが、特に靈的に確信できる「場所」をもつことは大きな

祝福です。

～祈り～

主よ。私も、個人的な「ベテル」をもち、主とお会いする場所に行うことができるようにしてください。

【学びのために】

個人的なベテルとは、規則的に個人デポジションをもつということ以上の意味で考えたいと思います。すなわち、「個人的に、確かに、神とお会いする」という霊的体験をする場所、または、その体験そのものです。